

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38523
事業名	新型コロナウイルス感染症相談体制整備費					
評価担当課	所 属	保)保健所 感染症総合対策課			電話番号	011-676-3625
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営	○ 一部委託	● 全部委託	○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	新型コロナウイルス感染症は世界的に流行しており、本市においても、医療提供体制を確保し、市民の健康を守るための取り組みや、感染時の対応などについて正しい理解を広める取り組みが必要である。
	事業内容(何を実施し)	新型コロナウイルス感染症に関する市民からの問い合わせに対応するため、以下の事業を実施する。 ①一般電話相談窓口、②受診・相談センター、③陽性者サポートセンター、④健康観察業務、⑤陽性者相談窓口、⑥コロナ健康相談ダイヤル ①主に、症状がない方や体調不良の不安がある方からの相談、その他の一般的な疑問に対して幅広く対応する。(相談件数:919件) ②発熱等の症状がある体調不良者からの相談を受け、診療・検査体制等が整った医療機関を案内するなど、適切な医療に繋げる。(相談件数:6, 334件) ③自宅療養中の陽性者からの健康相談や、問い合わせに対応する。(相談件数:1, 593件) ④自宅療養中の陽性者に対し、看護師による健康観察等のフォローを行う。※新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類感染症に移行し、令和5年5月7日に対応終了。(相談件数:389件) ⑤感染が疑われる体調不良者に対して、検査結果に応じた案内・相談対応、及び陽性患者の体調急変時の相談対応を行う。(相談医療機関数 4／1～5／7:330施設、5／8以降:約200施設) ⑥令和5年5月8日に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行した後も、外来や救急への影響緩和のため、上記①～③を統合し、新たな相談窓口を開設。発熱時の受診相談及び陽性判明後の体調急変時の相談を対象とし、また、感染症法の位置づけ変更に伴う各種問い合わせにも対応。(相談件数:33, 263件)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の減少を目指し、市民の健康を維持する。
	他都市の状況	同様の業務を実施
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	2,881,364 千円	うち特定財源	2,881,364 千円	正規職員業務量	5 人工
令和5年度予算額	3,015,000 千円	うち特定財源	3,015,000 千円	正規職員業務量	5 人工
令和5年度決算額	1,114,293 千円	うち特定財源	1,114,293 千円	正規職員業務量	5 人工
令和6年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	コロナ健康相談ダイヤルの応答率の向上			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
			98%	98.90%			
	↓						
	アウトカム成果指標1	市民の満足度を数値化することは困難なため、成果指標は不			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	応答率は概ね9割以上あり、相談者のニーズに応えられたものとする。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし。(本事業は令和5年度で終了)
来年度以降の方向性	なし。(本事業は令和5年度で終了)